

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

「おばあさんが首挟まれかけた」 ワンマン^{運転}で安全守れない

2021年5月7日 房日新聞より

4月20日、館山駅から安房鴨川駅まで乗ってみました。

：

江見駅でのことです。電車が停車して、しばらくしておばあさんが降りようと動きだし、そばにいた若い女性が降車ボタンを押してあげました。

ドアが開きかけた時、「ドアが閉まります。ご注意ください」のアナウンスがあり、ドアが閉まりだしたのです。慌てた若い女性が再度降車ボタンを押しましたがドアは開かず、おばあさんの首が挟まれかかりました。

幸い江見駅は郵便局が併設されている駅で、局員が改札口に出ていました。目の前の出来事で局員が駆け付け両手でドアを押さえました。

その様子に気付いたのか運転士が操作したようでドアは開き、おばあさんは無事降りていきました。

駅員のいない駅や改札口の前でなかったらどうなっていたのかと恐ろしくなりました。

ワンマン列車であわや重大事故
5月7日の房日新聞に衝撃的な事態が投稿されました。4月20日にワンマン列車で館山〜安房鴨川駅間を乗車した際、江見駅でおばあさんの首が挟まれかけたというのです。江見駅は出札業務が郵便局に委託された駅です。幸いにも郵便局員が目の前にいて、ドアを押さえることで無事に降車できました。

しかし、一歩間違えば深刻な事故になってもおかしくありませんでした。
「事故前提」でワンマン運転するな
原因はワンマン化です。ツーマンと同じ停車時分の上、運転士には車内を確認する術はありません。時間が来て乗降が確認できなければドアを閉めるしかありません。このままでは何度も同じ事態が起こってしまいます。

また、会社は「みどりの窓口を24年度末までに7〜8割減らす」「改札業務と一体運用の地方駅は無人化」と発表しました。
無人駅で同じ事態が起これば、深刻な事故になるにも関わらずです。
「事故前提」でワンマン運転・無人駅拡大を継続するなど絶対に許されません。ワンマン運転をただちに中止すべきです。